

知っていましたか？

- バスケットボールとバレーボールの2大スポーツは、YMCAで生まれました。
- YMCAのインストラクターが、初のグループ水泳教室を開催
- YMCAが、初めてライフセービングや水泳、水中指導の認定プログラムを設立
- YMCAは、また、夏のキャンプ、夜間学校、職業カウンセリング、成人教育、大学生サービス、短大も開設し、先駆者であり、大きく発展させました。
- YMCAの世界奉仕職員は、平和部隊ボランティアの前身でした。

アレキサンダー奨学基金、別名ASFはYMCAを支援するために設立された

ASFは、主にYMCAの奨学金や研修プログラムを提供するために、世界的および地域的にYMCAを財政的に支援してきました。この基金は1954年、米国ミシガン州ランシングで開催されたワイズメンズクラブ国際協会・国際大会においてスタートしました。ワイズメンズクラブ国際協会の創設者であるポール・ウィリアム・アレキサンダー判事の肖像画を有名画家に描いてもらうために募金が行われたのです。しかし、彼は「もったいない」と思い、より安く済む、有名な写真家による肖像写真とすることにしました。そして、募金の残りの約900ドルは、このワイズメンズクラブ国際協会のプログラム立ち上げのために使われました。

ASFは当初、地域事業主任の意見に基づき、国際事業主任が一元的に管理していましたが、後に地域事業主任が管理するようになりました。その後、基金の運営は地域に移されました。地域は、地域が定めた条件を満たす候補者のさまざまな要望に応えるため、自ら資金を調達することが期待されています。このため、増え続ける候補者の要望に応えるために、十分な資金を調達することも、それぞれの地域の責務となっています。

各クラブのみならずには、早急にアレキサンダー奨学基金へのご寄付をお願いいたします。

アレキサンダー奨学基金

YMCAへの私たちの思いを込めて



10月はアレキサンダー奨学金 (ASF) の強調月間です。

この機会にASFのことをもっと良く知っていただき、このプログラムへの皆さまの一層のご支援をお願いいたします。

ASFは、ワイズメンズクラブ国際協会の創設者であるポール・ウィリアム・アレキサンダー判事の志を受け継いで、彼の名前に因んで、1954年に設立されました。

以来68年間、ASFは、主にYMCAスタッフやYMCAに繋がる青少年のための奨学金や研修プログラムを提供し、世界各地のYMCAを財政的に支援してきました。ASFは、私たちのYMCAとの密接な関係の証しです。

各地域、各区でASFのために集められた献金の総額の30%は、国際ASF献金として国際本部に送られます。このお金は、世界YMCA同盟と協議の上、世界レベルの運動の特定の目的のためにYMCAに寄付されることになっています。近年では、毎年10,000スイスフラン以上が国際ASF献金として送られてきています。この基金は、例えば、若いYMCA会員が地域社会の変革者となるための「チェンジエージェント」活動の支援、2019年8月にロンドンで開催されたYMCAの175周年記念式典の支援、新型コロナウイルスの流行によって困窮している世界各地のYMCAを支援するための「YMCA連帯基金」への拠出などに使用されています。

残りの70%は、各地域、各区で保持され、その地のYMCAスタッフやユースリーダー研修、育成に活用されています。

2021-2022年度、国際ASFへの献金は14,464スイスフランに達しました。これは、2020-2021年度の金額を上回り、献金額が国際会長の目標を上回った唯一のプログラムでした。皆さまの寛大なご献金、誠にありがとうございました。

前年度の国際ASF献金への貢献を称えて、左記のとおり、地域と区のメンバー一人当たりの献金額について、表彰いたします。あらためて、ご協力に感謝申し上げます。

また、国際ASF献金を一層促進するため、ラッフルを実施しました。50スイスフランの献金つき1枚のチケットが発行され、コンピューターによるランダム抽選の結果、以下の区が当選されました。おめでとうございます！

最優秀地域	
アメリカ地域	CHF 4.8/メンバー
優秀区	
第1位: 太平洋南西区	アメリカ地域 CHF 6.99/メンバー
第2位: オーストラリア区	アジア太平洋地域 CHF 5.89/メンバー
第3位: アフリカ南東区	アフリカ地域 CHF 3.94/メンバー

1等賞 (CHF 500)	台湾区	アジア太平洋地域		
2等賞 (CHF 200)	オーストラリア区	アジア太平洋地域	全北区	韓国地域
3等賞 (CHF 100)	西日本区	アジア太平洋地域	フィンランド、バルト区	ヨーロッパ地域
	北大西洋区	アメリカ地域	太平洋南西区	アメリカ地域
			西インド区	インド地域

国際本部ニュース2022年10月

10月に入り、先月タイのチェンマイで開催されたユースコンボケーションが「過去を尊重し、現在を大切に、未来を形作る」をテーマに成功裏に終了したことを、この場を借りてお祝いしたいと思います。68名の公式参加者と12名のボランティアやゲストが参加し、8つの地域すべてから代表者が集まりました。K・C・サミュエル国際会長は、国際会長主催舞踏会で2022-24年の国際ユース代表としてクリシュナン・ウンニを任命しました。エネルギーで魅力的なイベントであって、若者だけでなく、世界中のすべての会員にインスピレーションを与えてくれると確信しています。私たちは、この勢いを持続させ、全力で支援し、次世代のワイズメンのリーダーたちを助言、励まします。チェンマイYMCAと地元のクラブの皆さんには、主催者側のサポートに感謝しています。また、ユースプログラムアシスタントのトンダには、この会の開催にあたり、本当に素晴らしい仕事をしてもらったので、特別に感謝いたします。ユースの話題を続けますが、iGoのインターンシップの第1回目が始まったことにワクワクしています。パーヌワイズメンズクラブからガート・ジェンタレンが、チェンマイYMCAで今後数ヶ月間働いてくれることになったのです。元国際ユース代表のドワイト・トムリンソンは、コソボYMCAでiGoの活動を間もなく開始します。この新しいプログラムについて、18-29歳の会員やYMCAジュニアスタッフへのプロモーションをお願いします。現在、2023年1月中旬に開始する機会を提供しているパーヌワイズメンズクラブへの派遣を募集しています。応募の締め切りは2022年11月1日です。iGoとパルヌのインターンシップの詳細については、[こちらをご覧ください](#)。ボンベイYMCAとスリランカYMCAでの追加の機会については、今後数週間のうちに発表される予定です。あなたのクラブやYMCAでも、この **iGoインターンシップ・オファー・フォーム** に記入すれば、iGoプログラムを提供することができます。

引き続き、地域と区に2022-23年のBF親善代表の受け入れを検討していただくようお願いします。**新しい方針**に従って、どの区も地元のクラブを訪問したり、大会や会議に参加したり、共同プロジェクトに参加したりするためのBF文化代表旅行を自由に提案することができます。旅行期間は1週間から1か月です。2022年12月1日までに「**BF企画書**」を提出してください。

10月は、アレキサンダー奨学金基金の強調月間です。私は、田中博之ASF国際事業主任と共に、2021/22年度の1人当たりの献金額が最も高かった米国地域（4.8スイスフラン/クラブ会員）を表彰します。また、成績上位の3つの区（太平洋南西区（米国地域）、オーストラリア区（アジア太平洋地域）、アフリカ南東区（アフリカ地域））にも祝辞を贈ります。そしてASF初のラッフルの当選者にもお祝いを申し上げます。今後10年間、YMCAのミッションパートナーとしての関係を築き、強固なものにするために、私はすべてのクラブがこの基金の重要性と運動の目的との関連性をよく考えていただくことをお勧めします。集まった金額の70%が地元のYMCAのために地域と区に残ることを念頭に置いて、

各クラブが惜しめない寄付をされることを期待しています。アレキサンダー奨学金基金の目的と運営についての詳細は、[ASFポリシー](#)をご覧ください。

最後に、現在進行中の100日間会員増強キャンペーンについてお知らせします。皆さんのクラブでは、先月の推奨どおり、エクステンションチームを結成したことと思います。12月8日のキャンペーン終了時には、新しいクラブとクラブ会員を増やすことに成功した皆さんをお祝いできることを楽しみにしています。11月の公式な創立日を間近に控え、皆さんのクラブの100周年記念行事や活動に関するストーリーをぜひ共有してください。



国際書記長
ジョース・ヴァルギース

2022年国際ユースコンボケーション タイ・チェンマイ



第18回国際ユースコンボケーションが、2022年9月4日から9日にかけて、「過去を尊重し、現在を大切に、未来を形作る」をテーマに、タイ・チェンマイで開催されました。2018年に韓国・麗水で開催されて以来の国際ユースコンボケーションです。100周年の年に開催され、ワイズメンズクラブ国際協会の歴史の中でも特別な時期の国際ユースコンボケーションとなりました。世界15カ国から約80名の代表者が参加しました。利根川恵子次期アジア太平洋地域会長、ディノ・パディラ YIA国際事業主任、ラチャン・マニーカーン区理事、ウィチャン・ブーンマパジョン元国際会長、西村隆夫元国際書記長、ジョース・ヴァルギース国際書記長など、特別なワイズリーダーを迎えることができました。

初日は、チェンマイのワイズメンズクラブホストチームが温かく迎えてくれました。おいしいタイ料理と美しいタイ舞踊で、参加者を歓迎してくれました。オープニングセレモニーでは、伝統的な、各国代表による国旗パレードが行われました。最後に、ジョース・ヴァルギース国際書記長が、ワイズメンズクラブ国際協会の100周年を祝い、参加者にワイズメンズクラブ国際協会の歴史を紹介しました。ジョース国際書記長の提案で最年少の参加者にケーキをカットしてもらい、最初の一切れはスペシャルゲストである利根川恵子次期地域会長に贈られました。





国際ユースコンボケーション2022は、国際ユース委員会（メンバー：2022-2024年度クリシュナン・ユンニ国際ユース代表、ドゥワイト・トムリンソン直前国際ユース代表、ディノ・バディラYIA国際事業主任、トング・フォンツシリクル地域ユース代表/ユースプログラムアシスタントによって運営されました）。この国際ユースコンボケーションでは、包摂性、環境、メンタルヘルスなど、若者が現在直面している社会問題についてのセッションを行いました。また、リーダーシップ・トレーニング、歴史認識セッションを行い「国際会長に会う」セッションでは、代表者がサミュエル国際会長に質問し、自分の視点や考えを交換する機会を設けました。



国際ユースコンボケーションの伝統に則り、各国の代表者が民族衣装を着てパフォーマンスを行うカルチャーナイトも開催されました。この国際ユースコンボケーション2022の象徴的な夜のハイライトは、ラテン系と日本の伝統的な衣装でのダンス、そしてアメリカ地域の歌などでした。この国際ユースコンボケーションのもう一つの目玉は、代表団を4つのグループに分けて切磋琢磨するワイズオリンピックでした。このセッションは、アメリカ地域ユース代表のギャレット・ピアソンとインド地域ユース代表のアマン・アジ・ポールがホスト役を務めました。プログラムを通して、参加者全員がとても楽しい時間を過ごしました。その日は、幸せと素晴らしい友情に満ちた1日でした。

最終日には、「振り返りセッション」を行い、参加者に自分の経験や思い出に残る瞬間を共有してもらいました。その日は、幸せな涙にあふれ、誰もが別れを惜しんでいました。私たちにとって、忘れられない国際ユースコンボケーションとなりました。ブルーノ・マースの「カウントオン・ミー」を一緒に歌いました。私たちは、お互いにメッセージを書き、思い出を語り合い、世界中にいるワイズメンファミリーをより強固なものにしました。国際ユースコンボケーションで私たちが言ったように、「さよならチェンマイ、こんにちはバンガロール！」そして、2024年にインドのバンガロールで再び会えるのを楽しみにしています。

参加者を代表して、この機会に、このような素晴らしい経験をさせてくださったワイズメンズクラブ国際協会に特別な感謝を捧げたいと思います。また、タイのワイズメンズクラブ、チェンマイYMCAの理事会、スタッフの皆さんには、イベント期間中、温かく迎えていただき、感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。国際ユースコンボケーション2022で共有した皆さんとすべての瞬間を懐かしく思うことでしょう。国際ユース代表クリシュナンの任期中に、国際ユース委員会のメンバーとすぐに再会し、一緒に仕事ができることを楽しみにしています。私たちは、一緒に素晴らしい年を作っていきます。

トング・P・フォンツシリクル（トレーシー・モヴィグリアッチ補）

YMCA -ワイズメンズクラブ国際協会との関係 インド・バンガロール



ワイズメンズクラブ国際協会は、1922年、トレドYMCAで活躍していたポール・ウィリアム・アレキサンダー判事によってYMCAに設立されました。トレドワイズメンズクラブが町のYMCA活動を支援したのです。以来、YMCAとワイズメンズの関係は、より大きな絆となり、世界中の多くの奉仕プロジェクトで共に活動しています。現在、ワイズメンズクラブ国際協会は、国際的な組織となり、現在もYMCAがそれぞれの都市や町で行う開発プロジェクトを支援し続けています。

今年、バンガロールワイズメンズクラブのK・C・サミュエルが、国際会長に就任したことを誇りに思います。バンガロールYMCAは、幸いにも2022年9月15日にバンガロール、シルパスンガロードにあるシティYMCAで祝辞を述べました。彼のワイズメンズクラブ国際協会とYMCAへの継続的な献身的奉仕を称え、特別にお祝いすることができました。また、同日にはカレッジデーがあり、YMCA体育大学の卒業式も行われました。バンガロールYMCAは、バンガロールのワイズメンズクラブと非常に良い関係を築いており、これまでにも多くの奉仕活動と一緒に取り組んできました。YMCAでは定期的に様々なプログラムを実施しており、ワイズメンズクラブが毎年開催するスポーツ大会は、YMCAのグラウンドで行われています。



私は過去35年間、バンガロール部・区のワイズメンズクラブと関わりを持ってきました。1983年当時、バンガロールには2つのクラブしかありませんでしたが、今では45のクラブが活動しています。現在、バンガロールYMCAでは、私たちの部や、新たに設立された南中インド区で、YMIとともにバンガロールの社会的弱者のために、多くの奉仕活動を計画しています。



ワイズメンズクラブ国際協会がYMCAとより良い関係を築き、地域社会への奉仕活動に積極的に参加されることを祈念しています。



バンガロールYMCA総主事/CEO
M・アントニー・アイザック

スクールバッグの配布



YMCAビジョン2030の活性化

世界各国から25名が、世界YMCA国際議会の共同研究所の議論を検証し、公正な世界、地域社会のウェルビーイング、持続可能な地球、意味ある仕事の4つの柱にまたがるグローバルな活動を調整するためのアクションプランに合意するため、スイスのレイシンに集まりました。国際書記長ジョース・ヴァルギースは、ワイズメンズクラブ国際協会を代表して会議に参加しました。

南中インド区第1回区議会



カレン・マルグレーテ・ステノ・ハンセン 元国際会長カイ・ステノ・ハンセン未亡人逝去

元国際会長カイ・ステノ・ハンセンの未亡人、カレン・マルグレーテ・ステノ・ハンセンが、2022年8月24日に亡くなったことを、深い悲しみと共にお知らせします。

娘のリリー・ステノ・ハンセンからのメールを以下に掲載します。ハンセン一家を通して世界が受けたすべての奉仕に全能の神様に感謝し、お祈りします。

2019年6月の元国際会長のニュースレターに、カレン・マルグレーテ・ハンセンの記事「過去の思い出」が掲載されていますので、ご参照ください。そこに表現されている、私たちの運動に対する彼女の愛と関心を称賛しましょう。以下に、娘のリリー・ステノ・ハンセンから、カレンの悲しい逝去についてのメールを紹介します。

アイザック・パラシカル



カレン・マルグレーテ・ステノ・ハンセン

リリー・ステノ・ハンセンからのメール

親愛なるアイザック・パラシカル、

私たちの母、カレン・マルグレーテ・ステノ・ハンセン（カイ・ステノ・ハンセン未亡人）が、8月24日（水）の夕方に静かに息を引き取ったことを、悲しい気持ちでお知らせします。

数日前からコルディング病院に入院していましたが、徐々に悪化し、ついに肺が耐えられなくなり、安らかに息を引き取りました。彼女は96歳で、天の父と愛する人たちのもとに旅立ちました。

彼女は意志が強く、たくましく、自宅で生活することに誇りをもっていました。わずかここ2〜3か月の間に健康状態が悪化しました。彼女は素晴らしい人生を送り、長く幸せな生活を送った後、計り知れない感謝と愛で私たちを残してくれました。彼女は素晴らしい妻、母、祖母、曾祖母であり、家族全員の模範となる人でした。

ワイズメンズクラブ国際協会は、私の父であるカイ・ステノ・ハンセンにとっても、母にとっても、とても大切なものでした。彼女はよく、父と一緒に過ごした素晴らしい経験や、長年にわたって培われた友情について話してくれました。私たち、彼女の子どもたちも、ワイズメンズクラブ国際協会が父と母に与えてくれたものすべてにとっても感謝しています。

彼女の思い出に敬意を表して

家族を代表して

リリー・ステノ・ハンセン

与えること

与えれば与えるほど
より多くのものを得ることができます。
もっと笑えばいい
悩むことが少なくなる
私心なくやればやるほど
豊かに暮らせば暮らすほど
より多くのものを分かち合えば、
より多くのものを手に入れることができます。
愛すれば愛するほど
より多くのことを見つけることができます。
人生は素晴らしい
そして、友人は親切です。
私たちが与えるものだけが
日々を豊かにしてくれるのです。

～ ヘレン・スタイナー・ライス ～

編集後記

この「与えることに」についての詩は、私たちがワイズメンズクラブ国際協会を通じて、資源と時間を共有することによって行っていることであり、とても感動的なものです。

もし、いい話、ニュース記事、プロジェクトの写真などをお持ちでしたら、ysmipnews@gmail.com まで編集者にメールをください。11月の強調月間テーマは、「100周年祝賀」および「BF」です。

ダニエル・トーマス
2022-23年度国際会長ニュース編集長

翻訳 田尻忠邦
校閲 田中博之